

道徳だより

どう Do 徳 ?
どう 説く ?
どう 道 talk



テーマ：京都市小学校道徳教育研究大会の見どころ！

令和6年11月
京都市立道徳教育研究会
広報部
(研究大会直前号)

育成部会

部会のテーマ

副部長 白井 隆(花背小中学校)

障がいのある子どもたちのニーズに合った道徳教育のあり方

授業者 赤井 将太教諭(松尾小学校) 教材名 「こんなことって、ないかな」(自作教材)

副部長からメッセージ

育成部会では、児童の事態とニーズに合わせて道徳科のねらいを設定し、授業を作り上げています。日常生活の場面を想起し役割演技を行いながら「正直・誠実」という価値について考えを深めていきます。また、絵本を活用し、児童の生活体験と道徳的価値を結びつけ、ソーシャルスキルを高めるきっかけ作りをしているところも見どころです。

中心発問

沢山の人が遊具に並んでいますね。早く乗りたいから、みんなを抜かしてもいいよね。



部会のテーマ

副部長 岩下 紅葉(伏見住吉小)

一人一人の子どもの思いを引き出す授業づくり

～道徳的価値に向かって、誰もが自由に交流し合える部会を目指して～

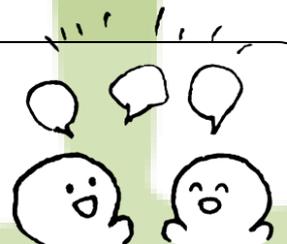
授業者 松岡 将貴教諭(嵐山小学校) 教材名 「ねえ、きいて」(生きる力 B-9 礼儀)

副部長からメッセージ

これまで6回の部会を通し、低学年部会のメンバーと、児童が自分事として捉えられるようになる授業や、より深く考えられるようになる手立てについて話し合ってきました。今回、京都市大会で行う授業は、令和6年度の教科書から新教材として扱われるようになったものの一つです。役割演技や話し合い活動を通して、児童がどのような考えに出会うのかを、ぜひご覧いただきたいと思います。

中心発問

(役割演技を通して) かなえちゃんみたいに聞いてもらって、どんな気持ちになりましたか。



低学年部会

日時 令和6年11月29日(金)

場所 伏見稻荷小学校

ミンナデ、イコウ

13:30 14:00

14:45 15:00

16:10 16:20

17:00



ソウ
シヨウ

受付	公開授業	移動	学年別 分科会	移動	全体会 (2階ふれあいホール)
----	------	----	------------	----	--------------------

部会のテーマ

副部長 三橋 柚里(九条塔南小)

中学年部会

プラス思考で進める納得と発見のある魅力的な道徳授業

授業者 中島 夢美教諭(京都市立桂坂小学校) 教材名 「王様のサンドイッチ」(生きる力 3)

副部長からメッセージ

「児童たちが日常にある『当たり前』に気づき、感謝の気持ちをもって生活しようとする心情を養いたい。」と、発問や板書計画を様々に協議して練り上げてきました。展開後段では、自分の生活を振り返る時間をたっぷりと設けることで、支えてもらっている感覚が薄くなっているものや人、ことについて、改めて考えを深められるようにします。当たり前すぎて意識できていないような物事にも、たくさんの人の関わりや支えがあることに気付くこと【発見】、そこに感謝の思いをもって生活していこうという思い【プラス思考と納得】を高められるようにしていきます。

ぜひ、中学年部会のテーマと重ね合わせながら、魅力的な道徳授業をご覧ください。

中心発問

中心発問 王様はどんなことを考えながら一一口味わって食べたのでしょうか。



部会のテーマ

副部長 島崎 紀理(美豆小)

子どもと創る道徳授業 ～自ら考えたいくなる、話したいくなる、実践したいくなる～

授業者 清水 康代教諭(朱雀第一小学校) 教材名 「生きることをあきらめない」(生きる力 5)

副部長からメッセージ

めあてや教材での問いを大切に

主人公が人としての弱さを乗り越え、前向きによりよく生きようとする姿に焦点を当てた発問を通して考えます。本授業では前段の発問を1つにします。考えさせたい道徳的価値が、他の諸価値に向かわないように、児童の思考の流れに応じて「補助発問」を適切に入れながら、ねらいに迫ります。

展開後段ではめあてにもどることで、授業で考えた生き方や気持ちが自分事となるように考えを深めていきます。横書きの板書にもぜひ注目してください。

中心発問

何度も手紙を読んだ弘志はどんなことを考えていたのだろう。

高学年部会

